

はらのひでお

○「地域の平均単収からの増収の部」受賞 原野 英雄(山口県宇部市)

品種	作付面積	単収	地域の単収との差(地域の平均単収)
北陸193号	約1.5ha	781kg/10a	250kg/10a(531kg/10a) [※]

※作況補正後の地域の平均単収

【経営概況】

- 家族経営(本人と妻)
- 地域の障害者支援施設を支援するため、畦畔草刈り作業を委託している。

【作付品目】

- 主食用米
ひとめぼれ、ヒノヒカリ 1.2ha
- 飼料用米
北陸193号 1.5ha

【取組のきっかけ】

- 実需者と、飼料用米生産者の耕畜連携(資源循環型サイクル)を基本とした取組に共感し、平成27年産から飼料用米生産に取り組んでいる。

【取組概要】

- 平成27年産から、多収性で耐倒伏性に優れる「北陸193号」で飼料用米生産に取り組んでおり、主食用米との作期分散を図ることにより、コンタミ防止を徹底している。この品種は、株張りが良すぎ草茎が固いため、主食用品種より高い部分を刈り取ることで収穫時のコンバイン負荷を軽減している。
- 生産コスト低減を図るため、①植栽密度を地域の慣行60株/坪から45株/坪に減らす疎植栽培により、資材費、労働力を低減するとともに、風通しが良くなり病虫害抑制につながっている。②実需者から牛糞・鶏糞混合堆肥、鶏糞堆肥の無償供給を受ける耕畜連携(資源循環)の取組と、基肥・追肥に安価な単肥(硫安)の使用によって肥料費を低減。③病虫害防除剤の苗箱散布、除草剤の移植時同時散布を行うことにより労働力を軽減。④実需者へフレコン出荷することで包装容器代及び運搬経費の削減等の取組を実施。
- 実需者と実需者に出荷する他の飼料用米生産者が連携し、生育診断等を実施する現地圃場視察会等を行うことにより、生産者同士が切磋琢磨し、単収向上を目指している。



山口県

